

## 2023年度 事業報告書

### 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

#### 1 事業活動概要

3年以上に及んだコロナ禍は、5類移行により収束へと向かい、神奈川子ども未来ファンドの取組みも徐々に日常を取り戻しました。オンラインで行っていた会議や開催を見合わせていた催しなどを対面実施し、その良さを改めて認識しました。

一方で、コロナ禍を背景に急速に広がったオンラインシステムは、利便性に優れ、平時においても有用な手段となりました。2023年度は、状況に応じ、対面、オンライン、併用と、取組手法の選択肢が広がった年でもあります。

さて、コロナ禍が長引く間に、子どもたちを巡る状況は大きく変わり、コロナ禍の社会不安が偏見や差別、いじめの助長につながっているのではないかと、コロナ禍での孤立感が深刻な影響を与えているのではないかと危惧が広がりました。社会は日常を取り戻しましたが、神奈川県内の公立小中学校・高校・特別支援学校のいじめ認知件数は過去最多の更新を繰り返しており、状況が改善されたとは言えません。

そうしたなか、神奈川子ども未来ファンドは、子どもたちが生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組みました。

具体的には、団体設立以来の助成事業のほか、「(一財)日本民間公益活動連携機構」の休眠預金等活用に係る通常枠資金分配団体として、公募選考を経た県内5実行団体とともに「困難を抱え孤立する子ども・若者の社会的自立支援事業」を開始しました。

また、「こどものみらい応援ネット」や「つなぐ支える相談窓口」を通じた企業等と地域団体との橋渡しや、神奈川県の「生活困窮者等若者単立ち応援事業」の事業者として事業の充実に取り組み、いじめストップ!の輪を広げるべくピンクシャツデーキャンペーンを推進しました。

このほか、2023年度は設立20周年を迎え、コロナ禍から日常を取り戻すとともに、これまでの歩みを振り返り、未来へと進むため、20年誌の編纂を行いました。

#### 2 事業内容

(1) 個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

① NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みを作る事業

(ア) ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の運用によるマッチングの推進

・内 容 子ども支援活動団体の情報、団体の活動を支える企業等の情報、子ども支援に関する情報を集約した上記サイトを運用し、活動団体と企業等のマッチングに取り組んだ。その結果、ポータルサイトの閲覧からコーディネート相談につながるなど利用が進み、企業等からの支援を活動団体に橋渡しすることができた。

閲覧可能団体数 534団体(サポーター含む)

・実施時期 通年

・場 所 神奈川子ども未来ファンド事務局(以下、「事務局」という。)ほか

・従事者人員 2名

・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等

・支出額 238,072円

(イ) つなぐ支える相談窓口の運用によるコーディネートの推進

・内 容 ホームページ上に開設している「つなぐ支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターの申出とのコーディネート

を行った。

今年は、企業側のニーズと支援団体のニーズに配慮し、双方が効果を感じられるようにコーディネートを進めた。また、この数年のコーディネートを通して、関係のできた企業と団体が直接やり取りするようになるなど、コーディネート窓口の運用は定着しつつある。

相談件数：18件（成立14件 不成立4件 継続0件）

※「こどものみらい応援ネット」分含む

- ・実施時期 通年
- ・場 所 事務局及び神奈川県内
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 207,302円

② 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

(ア) 会員及び寄付の状況

・内 容

【会員数】

	2023年度末現在	2022年度末現在
正会員	44名	46名
準会員	9名	14名
子ども応援会員	10名	10名
法人会員	27社	26社

【寄付額】

	2023年度実績	2022年度実績
一般寄付金 ※	5,671,660円	4,568,502円
運営基盤を支える寄付金	63,874円	120,000円

※ピンクシャツデー協賛金を含む

- ・実施時期 通年
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 15名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 84,523円

(イ) 音楽イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 音楽イベント等に出展し、募金活動や子ども支援活動団体を紹介するパネル展示等を行った。
- ・実施時期 2023年4月15日(土)～4月16日(日)
- ・イベント名 ヨコハマアコースティックフェスティバル vol.13 (赤レンガ倉庫)
- 及び場所 2023年11月3日(金)  
ホッチポッチミュージックフェスティバル (象の鼻パーク)
- 2024年2月17日(土)  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会  
(横浜みなとみらいホール)
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 258,314円

(ウ) 各種イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 tvk かながわ MIRAI ストリート等に出展し、チャリティーバザーや募金活動、子ども支援活動団体を紹介するパネル展示、ピンクシャツデーオリジナルグッズ販売等を行った。
- ・実施時期 2023年5月27日(土)・28日(日)
- イベント名 tvk かながわ MIRAI ストリート (横浜公園)
- 及び場所 2023年10月1日(日)  
モトスミ・ブレーメン通り商店街プライマルクト (川崎市元住吉)
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 187,042円

(2) 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした「子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成」または「子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成」

① 助成事業

(ア) 2023年度助成

- ・内 容 「一般助成」及び「課題助成」(いじめ・貧困・児童虐待) 合わせて総額150万円(1団体上限30万円)で2022年度に募集し、助成選考委員会の審査選考を経て決定した7団体へ総額1,525,000円の助成を行った。

(2023年度助成選考委員会)

- 委員長 高見澤尚弘氏 株式会社高尚代表取締役社長
- 委 員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
- 委 員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士
- 委 員 藤枝 香織氏 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 理事・事務局長
- 委 員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員

- ・実施時期 5月
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 11名(事務局2名、理事3名、選考委員5名、運営委員1名)
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 1,738,138円

【2023年度助成対象団体一覧】 助成総額 1,525,000円

<一般助成>

	団体名	事業名 <活動領域>	所在地	助成金額
1	一般社団法人 あそびの庭	<居場所づくり事業> 「はらっぱベース」～子ども真ん中・だれでもどうぞの居場所づくり～	二宮町	300,000円
2	特定非営利活動法人 まんま	<乳幼児親子支援事業> 子どもの育ち相談日 ぼればれ	横浜市	200,000円
3	特定非営利活動法人 こどもの広場もみの木	<居場所づくり事業> 「こどもの広場」を核にした地域における子育てを支え合うピアサポートコミュニティづくり(2年目)	横浜市	200,000円

4	特定非営利活動法人 ひだまりの森	<乳幼児親子支援事業> コロナ禍で生きづらさが増した境界 線領域の親子支援「専門相談強化事 業」	横浜市	250,000円
5	一般社団法人 グローバル文化協働支 援センター	<学童保育事業> にこにこ学堂クラブ	川崎市	125,000円
6	特定非営利活動法人 育て合い広場・てとて とて	<居場所づくり事業> 学校に代わるオルタナティブな学び 場事業「まなびこ」	藤沢市	150,000円
			合 計	1,225,000円

<課題助成>

	団体名	事業名 <活動領域>	所在地	助成金額
1	特定非営利活動法人 さくらんぼ	<女性支援> 社会的擁護を出た女子学生のための 下宿「下宿やWith」の規模拡大及び 機能強化	横浜市	300,000円
			合 計	300,000円

(イ) 2024年度助成

- ・内 容 2024年度助成対象団体の募集  
「一般助成」及び「課題助成」（いじめ・貧困・児童虐待）を、助成総  
額150万円（1団体あたり上限30万円）で募集した。
- ・実施時期 2023年11月1日(水)～2024年1月25日(木)
- ・従事者人員 15名（事務局2名、理事4名、選考委員5名、運営委員他4名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 183,524円

(ウ) 2023年度助成贈呈式、2022年度助成団体実施報告会及び団体交流会

- ・内 容 2023年度助成団体への助成目録の贈呈式、2022年度助成団体の実施報  
告会を開催した。寄付をしていただいた企業・団体・個人の方を招待  
し、贈呈式のプレゼンターになっていただき、団体との交流会にも参  
加いただいた。
- ・実施時期 2023年6月23日(金)
- ・場 所 横浜ワールドポーターズ6F イベントホールB
- ・従事者人員 14名（事務局2名、理事3名、選考委員5名、運営委員他4名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 284,624円

② 休眠預金等活用助成「困難を抱え孤立する子ども・若者の社会的自立支援事業」

- ・内 容 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預  
金等活用法に基づく「2022年度通常枠第1回」に資金分配団体として  
応募し採択されたことを受け、外部委員で構成する審査委員会により  
選考された実行団体5団体に対し、資金助成をするとともに事業の着  
実な実施に向け、各種研修や組織基盤整備等の非資金的支援、事前評  
価等を実施した。
- ・助成金額 総額 51,964,526円（3年間）  
内訳 事業費 49,972,526円（3年間）

評価関連経費 1,992,000円 (3年間)

2023年度助成額 16,101,416円

- ・助成期間 2023年4月(資金提供契約締結後)～2026年2月末
- ・審査委員会 2023年3月21日(火)
- ・従事者人員 10名(事務局2名 理事2名 審査委員会委員6名)
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 24,171,627円

**【実行団体一覧】**

団体名	事業名	所在地	2023年度助成額 (事業費助成[3年間]) 〈評価関連経費助成[3年間]〉
特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	児童養護施設等の子ども達の 為のキャリア教育事業	横 浜 市	3,260,400円 (12,096,000円) 〈550,000円〉
特定非営利活動法人 横浜メンタルサービ スネットワーク	医療・福祉・教育の挟間で生 きづらさを抱えた、小・中・ 高校生支援	横 浜 市	3,564,586円 (9,965,792円) 〈345,000円〉
一般社団法人多摩区 ソーシャルデザイン センター	地域の若者が担う互助の支援 により、不登校・引きこもり などに対する居場所づくりと 社会体験を行う事業	川 崎 市	2,212,120円 (6,715,450円) 〈330,000円〉
特定非営利活動法人 よこすかなかなかや	子どもに寄り添い、学習と職 業体験にフォーカスした自立 支援事業	横 須 賀 市	4,448,180円 (13,447,550円) 〈392,000円〉
一般社団法人 かけはし	不登校の子どもと生きづらさ を抱える若者の社会的自立に 向けた活動	横 浜 市	2,616,130円 (7,747,734円) 〈375,000円〉

※実行団体から提出された事業計画書・資金計画書に基づき、助成金額及び評価関連経費を算定

③ 生活困窮者等若者巣立ち応援事業 (かながわつばさプロジェクト)

- ・内 容 神奈川県生活援護課が実施する「生活困窮者等若者巣立ち応援事業」の事業者にて採択され、助成金交付手続きや実績報告などを行った。また、自治体担当者や外部有識者等により構成される「かながわ子ども・若者未来応援ネットワーク会議」の事務局業務を担当し、同会議の運営を行った。
- ・実施期間 2023年5月18日(木)～2024年3月31日(日)
- ・助成金額 7,056,399円
- ・助成期間 2023年5月18日(木)～2024年3月31日(日)
- ・対象団体 公募申請のうえ登録された団体
- ・従事者人員 4名(事務局2名、理事2名)
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 7,541,126円

【2023年度かながわつばさプロジェクト登録団体一覧】 助成総額 7,056,399円

	団体名	所在地	助成金額
1	特定非営利活動法人ひまわり	横須賀市	353,000円
2	公益財団法人よこはまユース	横浜市	333,500円
3	社会福祉法人白十字会林間学校	藤沢市	224,800円
4	一般社団法人アマヤドリ	三浦郡 葉山町	280,000円
5	一般社団法人てとてと	川崎市	90,460円
6	特定非営利活動法人アンガージュマン・よこすか	横須賀市	115,784円
7	特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル	東京都 港区	3,555,691円
8	特定非営利活動法人フリースペースたまりば	川崎市	605,346円
9	公益財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団	横浜市	437,898円
10	特定非営利活動法人さくらんぼ	横浜市	268,920円
11	特定非営利活動法人子どもと生活文化協会	小田原市	791,000円
			7,056,399円

(3) 前号の助成対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

- ・内 容 助成対象団体等への事業運営等に関する助言、支援等を行った。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 73,279円

(4) 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

- ・内 容 助成団体等へ活動状況や子ども・若者等を取り巻く課題についてヒアリングを行った。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 50,578円

(5) 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

① 「ピンクシャツデー2024 in 神奈川」の取組み

- ・内 容
  - ・取組みの趣旨に賛同した企業・団体や行政等のメンバーで構成された推進委員会を2023年9月に立ち上げ、神奈川子ども未来ファンドがその事務局を担い、県内にいじめストップの取組みが更に広がるよう努めた。
  - ・2024年2月のピンクシャツデー月間は、県内各所でライトアップやデジタルサイネージ等の掲示、オリジナルグッズの販売など、多くの協力を得ることができ、新たに取り組む行政や学校、地元の有志等も

- 増えた。
- ・ 2月28日は新都市プラザ（横浜駅東口地下2階広場）でのファイナルアクションでは、パネル展示、アコースティックデュオ N.U. によるミニライブ、「ピンクシャツデーのはじまり」紙芝居の上演等を実施、平日にも関わらず1,700名を超える来場者があり、「いじめストップ！」について多くのメッセージが寄せられた。また、エースコック(株)が本活動に賛同し、ピンクをイメージカラーとしたスーパーカップ1.5倍の新製品を販売開始し、ファイナルアクション当日には、協賛品として、1,000個を配布した。
  - ・ これらの結果、県内各地域の企業・団体や行政、学校、NPO等がいじめストップの取組みが広がり、子どもたちが自分たちの問題として、この活動に取り組む様子も見られるようになった。
- ・ 実施時期 2月（ピンクシャツデー月間）  
 及び場所  
 取組内容
- ・ パネル展示：2月28日(水)  
 新都市プラザ（横浜駅東口地下2階広場）
  - ・ ライトアップ  
 横浜8カ所、川崎1カ所、横須賀2カ所、鎌倉1カ所、藤沢2カ所、茅ヶ崎1カ所、小田原1カ所
  - ・ デジタルサイネージ、ポスター掲出（商業施設、交通機関等）
  - ・ オリジナルグッズ販売協力（百貨店等の商業施設）
  - ・ スポーツ関連団体の参加  
 プロ卓球リーグのチーム、地元少年サッカークラブ等
  - ・ 県内市町村（イベント、ワークショップ等の開催）
  - ・ 県内小中高校、PTA、図書館等  
 ポスター掲出、チラシ配布、ワークショップ等の開催
  - ・ 県内小中高校の児童生徒  
 授業、校内開催行事や校外活動への積極的参加
- ・ 場 所 神奈川県内各所、新都市プラザ（横浜駅東口地下2階広場）
- ・ 推進体制 ピンクシャツデー2024 神奈川推進委員会(2023年9月発足)  
 代表推進委員 山崎美貴子（神奈川子ども未来ファンド常任理事）
- ・ 後援、協賛 後援70団体、協賛・協力106社・団体（個人含む）
- ・ 従事者人員 20名
- ・ 受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・ 支 出 額 3,829,664円

② 子どもみらいセミナーの実施

- ・内 容 「貧困・虐待・いじめ」をシリーズタイトルとし、オンライン配信により実施した。

第1回「虐待からのSOS」

日時：2023年10月14日(土)14:30～16:30(有料配信)

会場：大川印刷(株) with GREEN PRINTING「社会課題解決型スタジオ」

講師：中塚久美子氏／朝日新聞専門記者(子ども・貧困)

参加申込者数98名 アンケート回収26通

YouTube 通算視聴回数121回

第2回「貧困・広がる格差の中で」

日時：2023年11月18日(土)14:30～16:30(有料配信)

会場：大川印刷(株) with GREEN PRINTING「社会課題解決型スタジオ」

講師：永岡鉄平氏／(株)フェアスタート 代表取締役

NPO法人フェアスタートサポート 代表理事

坂本左織氏／特定非営利活動法人さくらんぼ 理事

参加申込者数102名 アンケート回収12通

YouTube 通算視聴回数79回

第3回「いじめ・子どもの命と尊厳を守るために」

日時：2024年1月20日(土)14:30～16:30

(ピンクシャツデー事業の一環として実施：無料配信)

会場：大川印刷(株) with GREEN PRINTING「社会課題解決型スタジオ」

講師：武田さち子氏／教育評論家、(一社)ここから未来 理事

参加申込者数104名 アンケート回収9通

YouTube 通算視聴回数121回

- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 753,121円

③ 「バリアフリーフェスタかながわ2023」への参加

- ・内 容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタかながわ2023」に出展し、ピンクシャツデーキャンペーンなど多様性を認め合う神奈川をアピールした。

(実行委員会委員長 吉富多美 [当法人副理事長])

- ・実施時期 2023年11月4日(土)
- ・場 所 横浜新都市ビル(そごう横浜店)9階センタープラザ
- ・従事者人員 6名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 84,118円

④ インターネットを活用した普及啓発

- ・内 容 Facebook等を活用して普及啓発活動を行った。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 130,7577円



⑤ 20周年記念事業

- ・内 容 節目の20年目を迎え、20周年誌の編纂を行った。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 7名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 388,617円

⑥ 広報誌の発行による普及啓発

- ・内 容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行った。
- ・実施時期 7月及び12月（年2回発行） 各回3,000部発行
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 7名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 489,529円

⑦ メディア等を通じた広報宣伝

- ・内 容 新聞・テレビ等のメディアに積極的に働きかけた。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 147,284円

(6) 第3条の目的を達成するために必要な事業

事業実施体制

- ・会議に関する事項
  - 通常総会 2023年5月29日開催
  - 常任理事会 2回開催（4月・6月）
  - 理事会 10回開催（6月・11月・1月を除く）
  - コンプライアンス委員会 1回開催（12月）
  - 運営委員会 6回開催
- ・監査に関する事項
  - 本監査 2023年5月13日実施
- ・事務局体制
  - 事務局長 1名（非常勤職員・理事兼任）
  - 事務局員 2名（非常勤職員）
  - 運営委員による事務局支援
    - 有償ボランティアとして 2名（繁忙期従事）
    - その他ボランティアとして 2名（随時）
- 学生インターン 4名

以上